

帯広市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果【概要版】

1 調査目的

子ども・子育て支援法に基づく「第三期帯広市子ども・子育て支援事業計画（2025～2030年度）」策定に向けて、教育・保育および子ども・子育て支援事業等の利用状況、利用希望等を把握し、確保を図るべき「量の見込み」を算出するための基礎資料を得ることを目的として実施したものの。

2 調査の概要

(1) 調査の種類

未就学児童の子ども・子育て支援に関する現状及び利用ニーズ把握のための調査

(2) 調査期間

郵送配布・回収（未就学児）令和5年12月12日～令和6年1月22日

(3) 調査対象・回収状況

調査の種類	配布数	有効回答票数 (有効回答票率)	抽出方法
未就学児調査	1,700	1,155 (67.9%)	令和5年5月1日現在で0～5歳児である者のうち1,700人を地区区分の構成割合により案分し、住民基本台帳から抽出。

3 速報版集計結果に関する留意事項

- ・お子さんの年齢は、令和5年4月1日現在の年齢。（0～5歳児クラスと同義）
- ・今回は、主要な項目について「速報版」として整理したものであり、確定値ではないため今後変更となる場合があり、精査のうえ最終報告を行う予定である。
- ・集計上、各項目で未記入等不明分を除いた回収数を記載しているため、上記の回収数と一致しないことがある。
- ・結果数値（％）は小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の計が合計（100％）に一致しないことがある。
- ・各設問の選択肢当については、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合がある。
- ・図中の「n=」は、有効回答数を表している。
- ・児童保育センターに通う就学児へのアンケート調査は、利用している児童の継続意向等に関するものとして現在調査中である。

4 調査結果の概要

(1) 地区別の回収結果

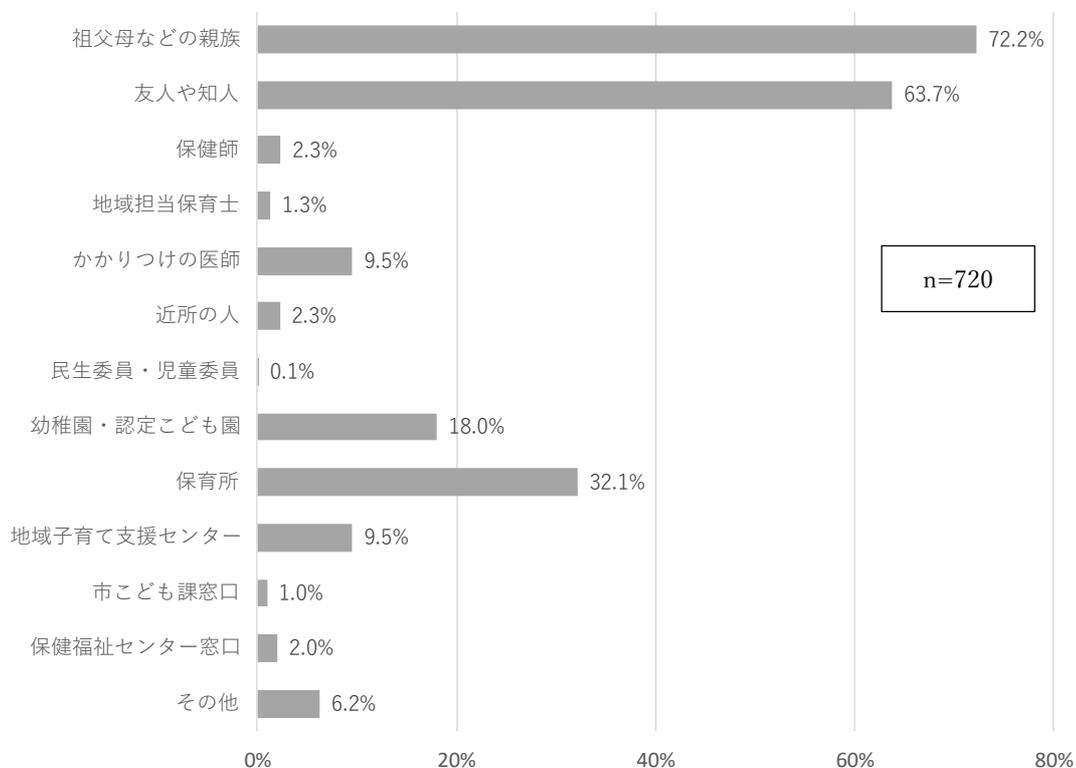
各地区とも回収率が60%台で、クラス年齢ごとの回収率も60%台となり、バランスのとれた結果が得られた。

クラス年齢	東	鉄南	西	川北	西帯広	南	農村	合計	配布数	回収率
0歳児	30	36	82	34	27	40	6	255	367	69.5%
1歳児	26	37	56	26	18	47	12	222	335	66.3%
2歳児	15	19	54	29	23	42	7	189	287	65.9%
3歳児	23	21	37	22	20	35	5	163	251	64.9%
4歳児	12	19	41	19	15	31	6	143	228	62.7%
5歳児	12	13	49	27	21	25	5	152	232	65.5%
合計	118	145	319	157	124	220	41	1,124	1,700	66.1%
配布数	175	228	468	236	182	352	59	1,700		
回収率	67.4%	63.6%	68.2%	66.5%	68.1%	62.5%	69.5%	66.1%		

※地区不明者31名を除く

(2) 子育てについて気軽に相談できる先 [問8-1]

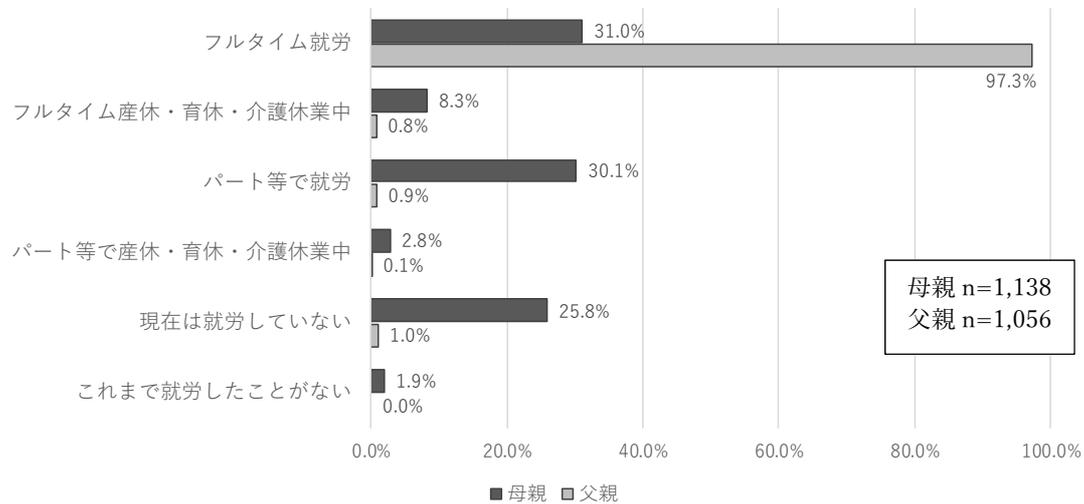
「祖父母などの親戚」が72.2%、「友人や知人」が63.7%、「保育所」が32.1%、「幼稚園・認定こども園」が18.0%であった。



(3) 母親と父親の就労状況 [問 10、14]

母親は、フルタイム・パート・アルバイト等勤務を合わせて61.1%、産休・育休・介護休業中が合わせて11.1%であった。また、「現在就労していない」が25.8%であった。

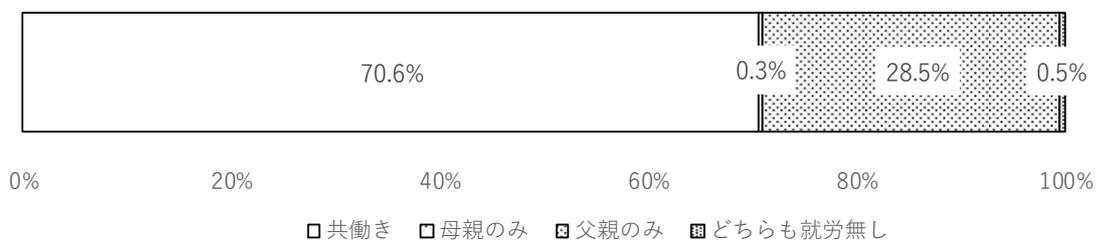
父親は、「フルタイム就労」が97.3%であった。



(4) 共働きの状況と就労転換の希望 [問 10、11、14、15]

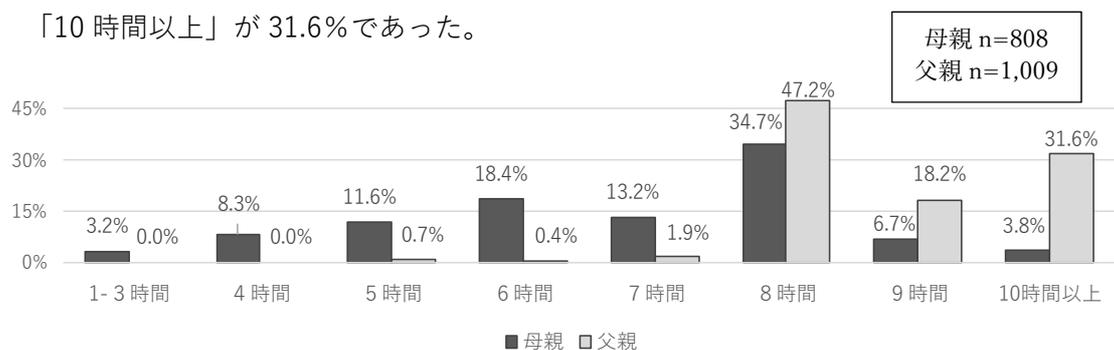
共働きが70.6%、父親のみ就労が28.5%であった。

また、母親の就労転換希望は、「現在の就労を継続する」が61.6%、「フルタイムへの変更希望見込みなし」が27.0%、「変更希望見込みあり」が7.6%であった。



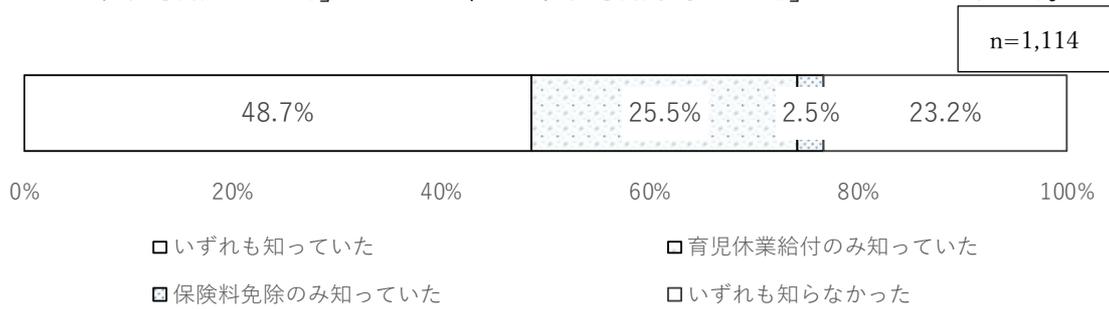
(5) 母親と父親の1日の就労時間 [問 12、16]

母親は「8時間」が34.7%、「6時間」が18.4%であった。父親は「8時間」が47.2%、「10時間以上」が31.6%であった。



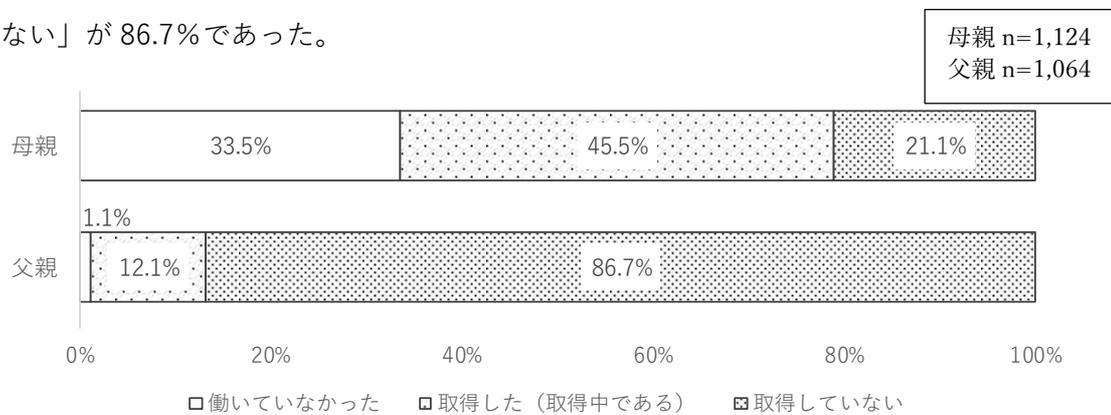
(6) 育児休業給付や保険料免除の仕組み [問 18]

「いずれも知っていた」が48.7%、「いずれも知らなかった」が23.2%であった。



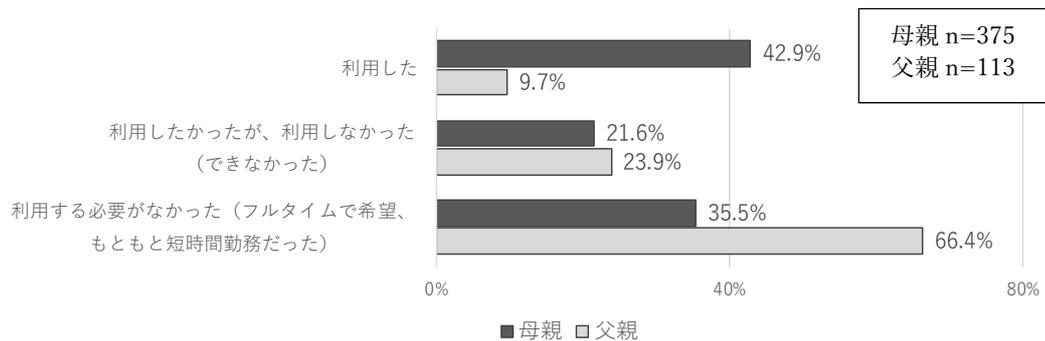
(7) 育児休業制度の取得状況 [問 19、問 20]

母親は「取得した」が45.5%、「働いていなかった」が33.5%で、父親は「取得していない」が86.7%であった。



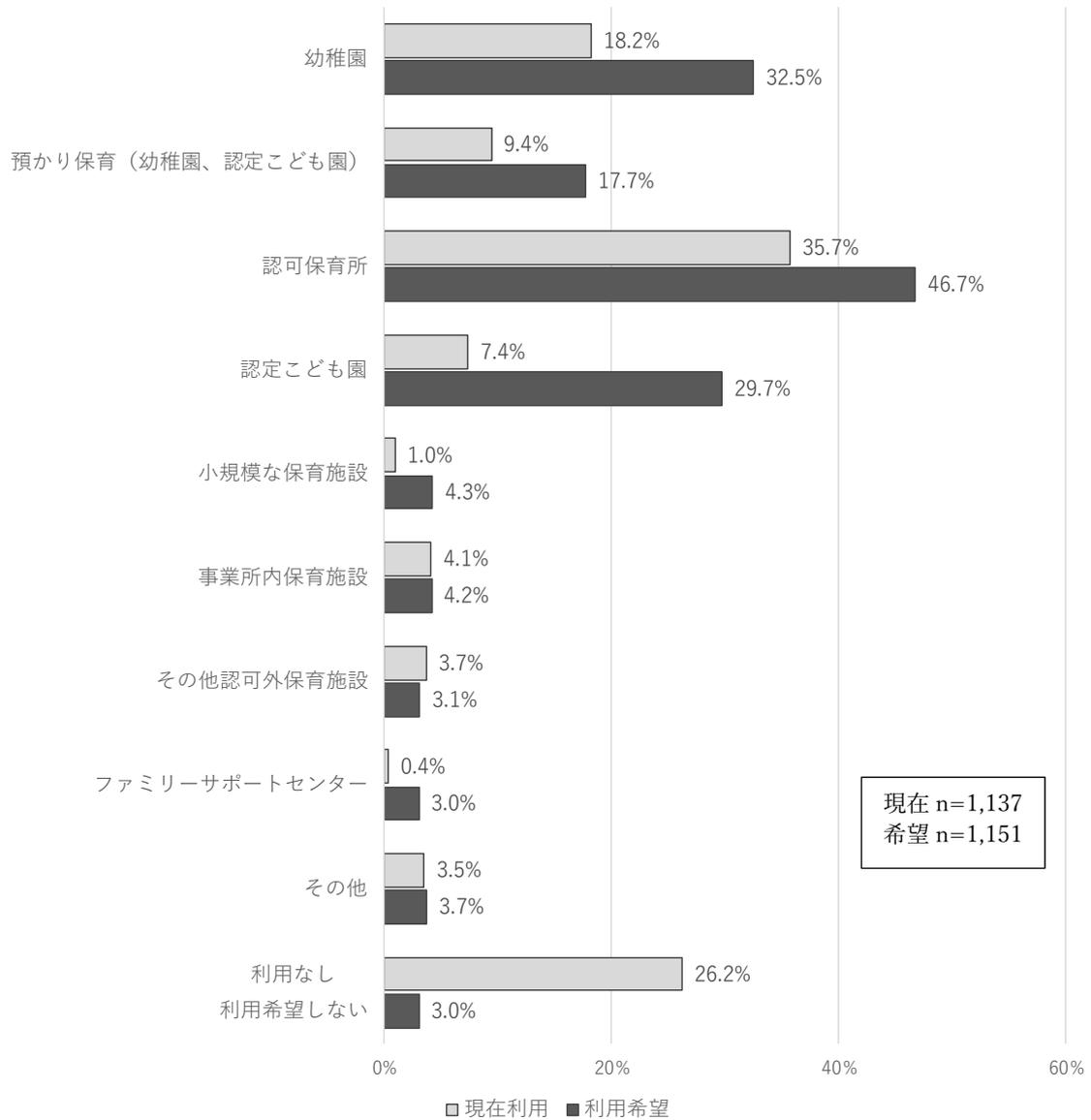
(8) 育児休業からの復帰時、短時間勤務制度の利用 [問 19-6、20-6]

母親は「利用した」が42.9%、父親は「利用する必要がなかった」が66.4%であった。



(9) 定期的に利用する教育・保育の事業及び今後の利用希望 [問 21]

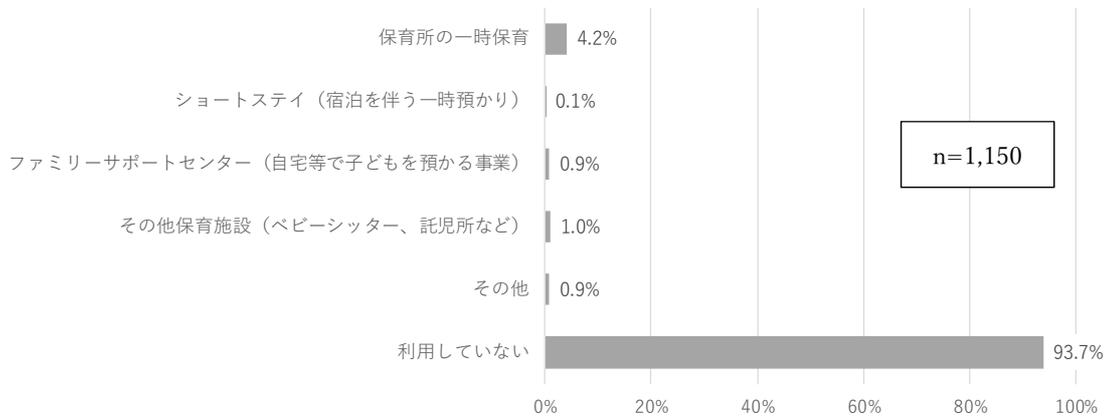
現在の利用は、「認可保育所」、「利用していない」、「幼稚園」の順で多かった。また、利用の希望は、「認可保育所」、「幼稚園」、「認定こども園」の順で多かった。



	幼稚園	預かり保育 (幼稚園、 認定こども園)	認可保育所	認定こども園	小規模な 保育施設	事業所内 保育施設	その他 認可外 保育施設	ファミリー サポート センター	その他	利用なし 利用希望 しない
現在利用	207 18.2%	107 9.4%	406 35.7%	84 7.4%	11 1.0%	47 4.1%	42 3.7%	4 0.4%	40 3.5%	298 26.2%
利用希望	374 32.5%	204 17.7%	538 46.7%	342 29.7%	49 4.3%	48 4.2%	36 3.1%	35 3.0%	43 3.7%	35 3.0%

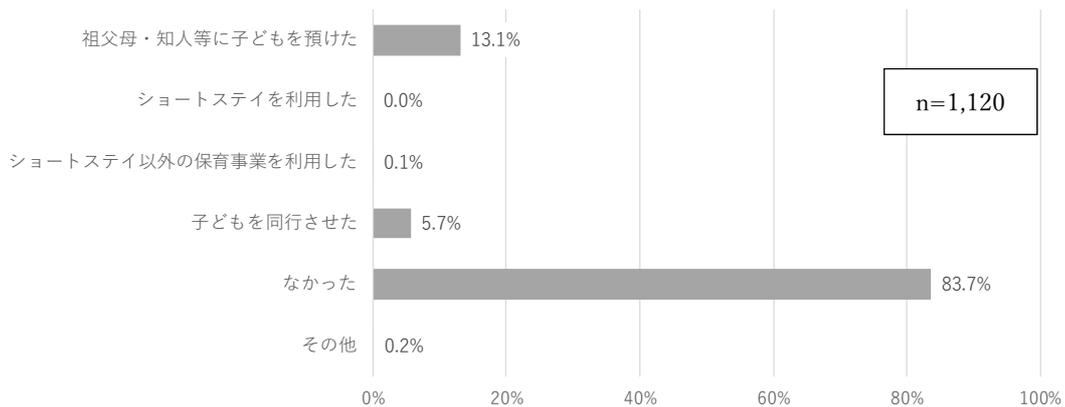
(10) 非定期的に利用している事業【問 25】

「利用していない」が93.7%、「保育所の一時保育」が4.2%であった。



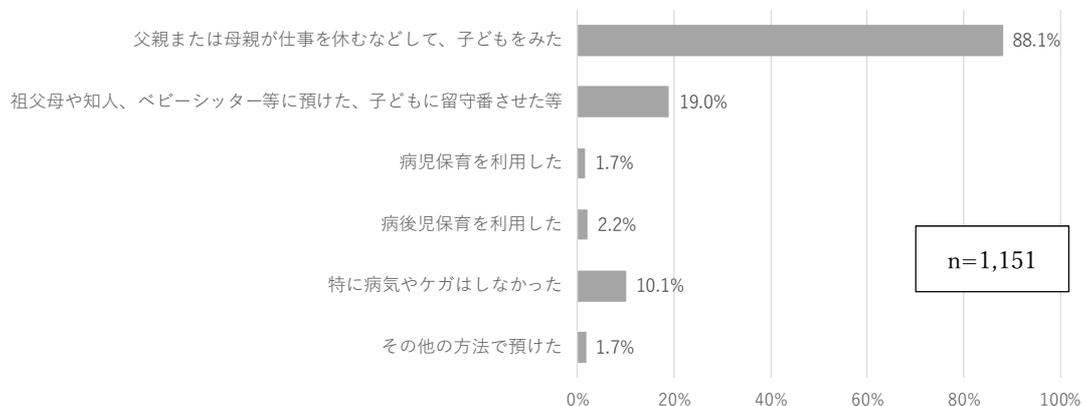
(11) この1年間に、保護者の都合により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。【問 27】

「なかった」が83.7%、「祖父母・知人等に子どもを預けた」が13.1%であった。



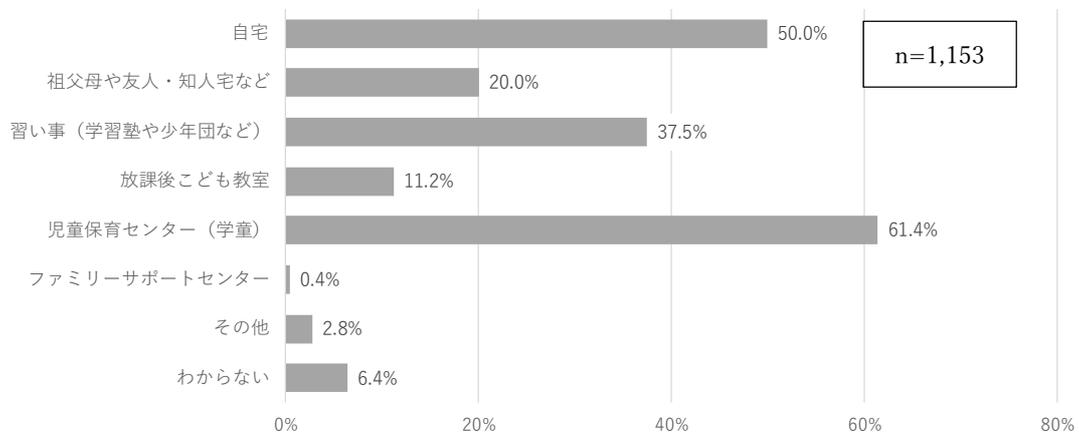
(12) この1年間で子どもが病気やケガをした場合に、回復期までの過ごし方【問 24】

「父親または母親が仕事を休むなどして、子どもをみた」が88.1%、「祖父母や知人、ベビーシッター等に預けた、子どもに留守番させた等」が19.0%であった。



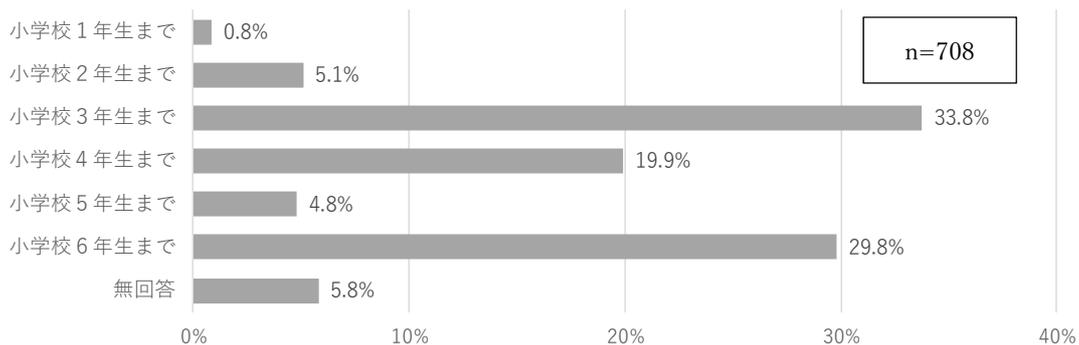
(13) 小学校入学後に予定している放課後の過ごし方【問 28】

「児童保育センター」が 61.4%、「自宅」が 50.0%、「習い事」が 37.5%であった。



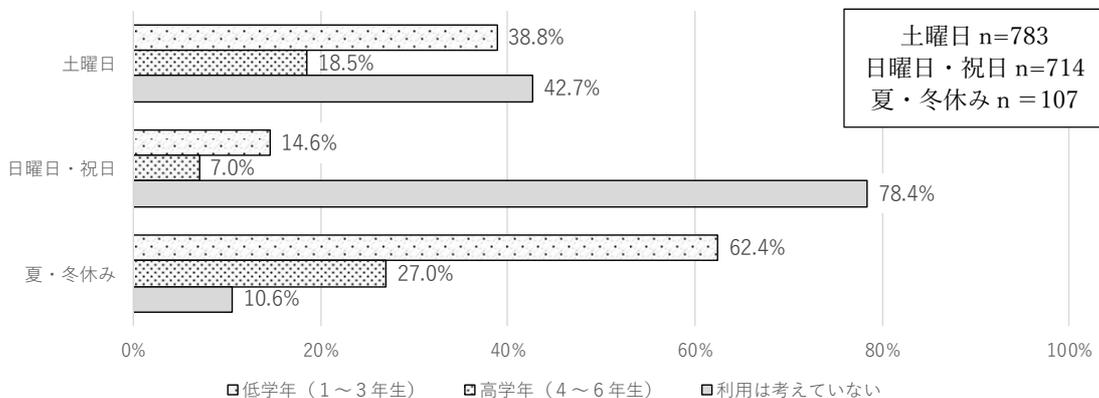
(14) 児童保育センターの利用希望【問 28-1】

「小学校 3 年生まで」が 33.8%、「小学校 6 年生まで」が 29.8%であった。



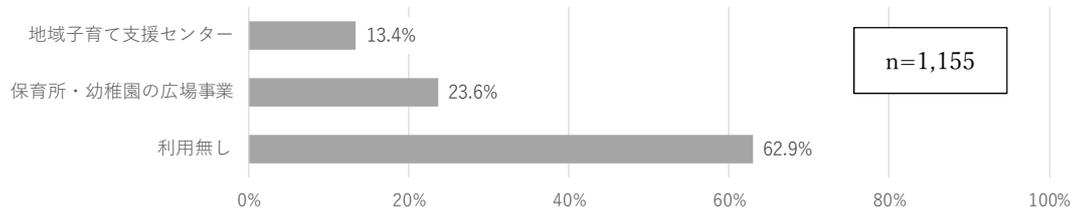
(15) 小学校が休みの時、児童保育センターの利用希望【問 28-1】

土曜日は、「利用は考えていない」が 42.7%、「低学年まで」が 38.8%、日曜日・祝日は、「利用は考えていない」が 78.4%、夏・冬休みは、「低学年まで」が 62.4%であった。



(16) 地域の子育て支援事業の利用状況について [問 31]

「利用無し」が62.9%、「保育所・幼稚園の広場事業」が23.6%、「地域子育て支援センター」が13.4%であった。



(17) 子育て支援事業の認知、利用状況、利用希望 [問 32]

子育て支援事業のうち、「保育所や幼稚園のあそびの広場」を『知っている』『利用したことがある』『今後、利用したい』と回答した人が50%を超えた。

『利用したことがある』では、「保育所や幼稚園の体験入園」が38.4%、「すくすく教室」が35.0%、「ほんわかファミリー教室」が23.9%であった。

